

えがお



上天草市

第4号

2011年2月15日発行

発行/上天草市議会
編集/上天草市議会
広報編集特別委員会
Tel 0964-56-1111

主な内容

- 決算報告……………P2~3
- 樋島漁協損失補償問題報告…P6~7
- 一般質問 市政のココを問う……………P11~17
- 議会報告会を開催しました ……P18~19

一緒にスタート!



龍ヶ岳中学校&大道中学校マラソン大会
(写真の背景は合成です)

人生は楽、笑

もりうちたけのぶ
【姫浦神】 森内丈信さん 82歳

まちの
笑顔
シリーズ



“まちの笑顔シリーズ” 今回は、元気いっぱい、毎日大きな耕運機を操り農作業に精を出していらっしゃる森内丈信さんをご紹介します。

森内さんは14歳で航空養成所に入所、毎日夜おそくまで働かされ、「今思うとばかばかしくて」と話されたのは、竹やりまで作られた事でした。

17歳で終戦を迎え、その後西鉄に入社、電車の車掌さんでした。「当時の電車は少しの坂でも電力不足で停まっていた」そうです。

現在は田畑3反強を一人で耕作され、地区では「自分に正直で曲った事が嫌い!でもとてもやさしいおじいちゃん」です。

元気の秘密は? とお尋ねしたら、「何十年も続けている二弁当峠までの散歩と自作の野菜主食の食事かな〜」と、すてきな**笑顔**で語って下さいました。

これからも明るい元気な笑顔を周りに与え続けてください。(^o^) /

まちの話題

維和地区



昨年、“宝くじ当選に御利益があるお地蔵さん”として、マスコミから報道された維和干束地区のまつてじそうそん「**松手地蔵尊**」。今では、市外からも多くの参拝者があるとか。

そういえば、「天草四郎が通ったかもしれない道」もテレビで紹介されました。(珍百景でしたが…)

龍ヶ岳中・大道中
来年度統合します。
マラソン大会は「足早く
一緒にスタート!」



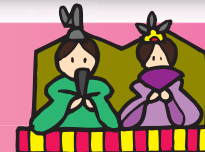
表紙の写真



次の定例議会は

3月です。

ぜひ傍聴にお越しください。詳しくは議会事務局へ ☎0964-56-1111



編集後記

新しい年を迎えました。今年は、皆さんのような年でありたいと思います。

さて、今年最初の「えがお」をお届けいたします。今回で4回目の発行で、私たちの編集委員会がスタートして丸一年を迎えようとしています。当初は「ここからどのように手をつけていくのかわからず、他市町の広報からアイデアを得たり、旧時代の担当者にご指導いただいたりと、四苦八苦でした。

議会閉会後すぐに編集会議を開きます。ほつとする間もありませんが、市民の皆さんから「読みやすさよ」とか「よくなるよ」などと言われると、うれしくなって、記事づくりに頭を抱えることも忘れてしまいます。

委員会の結束も回を増すごとに「あうん」の呼吸に近くなりました。このままいくと、将来我々で新聞社をつくるなんてことも夢ではないかもしれない(笑)

今年も皆様にご愛読いただきありがとうございます。今年も皆様に「えがお」をお届けいたします。

委員会一同、気持ちを「まっすぐ」して取り組みます。

(津留 和子)

上天草市議会広報編集特別委員会

- 委員長 猪塚 安親
- 副委員長 津留 和子
- 委員 川口 望
- 須崎 光枝
- 田中 たつお
- 平田 晶子

163億円の成果



未来を担う子どもたちのためにも自主財源の確保と財政健全化への努力を!

弱い財政構造

雇用の確保や基幹産業の振興等を始め、厳しい経済状況に対応する政策を実施し、結果として自主財源(または市税)の向上を図ることが必要不可欠です。議会も積極的に具体案を提案しながら、考えていくことが求められます。

グラフからもわかるように、自主財源比率は21.3%と、あらためて依存財源に頼りきった財政構造であることが浮き彫りになりました。特に地方税(市税)は13.3%と、昨今の地域経済の悪化を反映して、20年度より2ポイント低下しています。財源の多くを国や県の支援や借金、いわゆる依存財源に頼る構造となつています。自主財源をどう確保するかが、本市にとっての最大の課題といえます。

財政大解剖

決算の役目

決算は収入と支出の結果を集計した計算書であるのと同じに、予算を執行した結果どのような成果があったかを示す成果報告書でもあります。議会はこれを審議して認定する役目を負いますが、どうか軽く見られる傾向もあります。しかし各種資料から行政効果や経済効果を判断し、市民に代わって評価する重要な仕事です。この評価を元に来年度以降の予算編成や行政執行に生かされるよう、努力されなければなりません。決算は税金の使い方を決める予算と表裏一体となるものといえます。

決算特別委員会

- 委員長 津留和子
副委員長 川口 望
委員 平田晶子
須崎光枝
宮下昌子
西本輝幸
高橋 健
小西涼司
島田光久
田中万里
北垣 潮
窪田進市

認定

▲ 議会は平成21年度決算を審査するため特別委員会を設置し、10/12~14に集中して審議。審査結果はすべて原案のとおりとし、12月議会で報告されました。

平成21年度決算のあらまし

一般会計 (実質単年度収支)
4億7,403万円の黒字決算

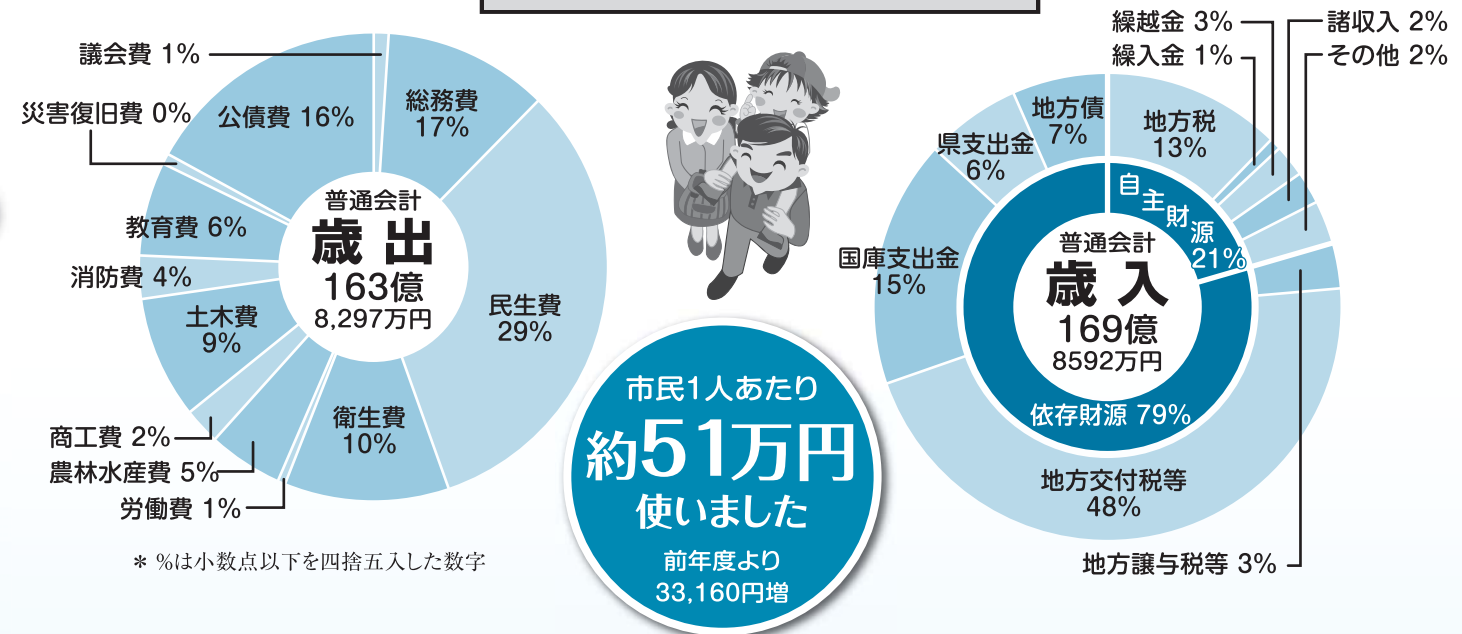
～ 市税の収入未済額、4億円を超える! ～

一般会計は162億7,239万円、9の特別会計の合計が90億4,645万円となり、うち普通会計の合計は163億8,297万円、一般会計と特別会計を合わせると253億1,884万円余りの歳出決算となりました。企業会計は水道事業会計、病院事業会計あわせて41億2,715万円となり、総合計294億4,601万円の歳出予算となり、いずれの会計決算も12月議会で全会一致で認定しました。

また、市税については、平成20年度より1億2,400万円の減少となっており、自主財源21.3%、依存財源は78.7%と、いまだ財政基盤が弱いことが浮き彫りになりました。

※ 普通会計(一般会計と診療所・斎場・天草四郎メモリアルホール特別会計の合計)

普通会計歳入・歳出(目的別)の内訳



求められる選択と集中

歳出の内訳のうち建設事業を始めとする投資的経費は、11.7%と20年度より2.4ポイント増加しています。昨年度の国の緊急経済対策の支援もあつて19億円程度の財源が確保できましたが、来年度以降も建設事業12億円が基準になることを市の執行部は表明しています。

今後とも松島庁舎建設や学校施設建設、または消防本部やごみ処分場の改築等多額の費用を要する事業が控えています。今後もよりいっそうの「選択と集中」が求められます。

決算質疑

決算特別委員会では、収入未済額の問題や、観光事業の効果などについて、改善を求める意見や要望が相次ぎました。その中の一部をご紹介します。

- Q 市税の収入未済額が4億2,500万円ほどあるが、対策はしているか。
- A 納税課を中心に各課職員で、11月を滞納整理強化月間とし一斉徴収を行っています。
- Q イノシシ被害が深刻であるが、どのような対策をしたか。
- A 21年度は箱わな51基、くくりわな20個を整備し、本年度4月から9月までに417頭を捕獲しています。
- Q 上天草総合病院の過年度未収金ほどの程度あるか。
- A 入院・通院費用の個人負担分の未収金が2226万円あり、電話や訪問徴収を行っています。

決議

桑原千知議員に対する辞職勧告決議

桑原千知議員は、憲法第30条で定められた納税の義務を怠り、議員及び議員に対する期待と信頼を大きく失墜させ、市民の納税意識を低下させた。市民の納税意識の向上を図る努力を怠っている。

市民に課税は、負担された議員自ら納税の義務を知らしめ、市民の信頼を高めようとする。4人の議員から「議員の給与の納付状況報告義務化と公開について」の申し入れがなされ、全員協議会で全会一致で了承した。

しかし、申し合せた納税証明書は提出されず、そのほか、税金の滞納が新聞紙上で明らかになって、市民や議会に対して詳しい説明がなく、反省の姿勢も謙虚な態度も見られず、憤りを感じた。

また、新聞紙上や上天草市議会だより「えがむ」で納税状況の報告後は、市民の反響は予想以上のものがある。実際、先月開催した各地域での議会報告会においても、議員の納税滞行が話題となり、議員の信用を失墜させた。議員に対する信頼も失墜した。

桑原千知議員は納税滞行を指摘する総務委員会委員長の言葉に「議員の給与は、これまで税金を滞納していたことは事実であり、責任は負っている」とは明言し、議員の納税滞行を認めないものとする。

さらに、桑原千知議員は議員だよりだけでなく、本会議や出席すべき会議においても欠席や遅刻・早退が目立ち、議員としての責務を果たしているとは言えず、その姿勢は認めないものとする。

このような状況から、桑原千知議員は自ら辞職し反省すべきと思うが、その辞職は全く見えない。よって、本会議は桑原千知議員に対し、議員を辞職させるよう勧告するものである。以上決議する。

平成22年12月17日
上天草市議会

議員辞職勧告決議

議員発議により、「納税の義務を怠り、議会及び議員に対する期待と信頼を大きく失墜させ、市民の納税意識を低下させた」として、桑原千知議員に対する辞職勧告決議が提出され、賛成多数で可決されました。

賛成意見

反対意見

- 議員として滞納があった場合は自らやめるべきだ。
- 納税意識の低下を招いた責任を取るべきだ。
- ◇ 現在納付しているのだから、次に起こさないかだ。
- ◇ 一面だけをみて辞職と決めてしまう風潮はどうか？

※桑原議員より平成20・21年度分の納税証明書が提出されました。(未納なし)

補正予算 可決

●一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ10億5,654万5,000円を追加し、総額を167億2,848万7,000円とするもの。

歳出の主なもの	
・予防接種負担金及び子宮頸がんワクチン 予防接種事業負担金	637万円
・道路維持費	1億506万円
・財政調整基金への積立	4億円

ザ・討論 (反対討論)

● 議案第70号 職員給与と条例等の一部改正
宮下昌子
給与の引き下げは連続であり、職員には大きな痛手である。地域経済が疲弊している今だからこそ、お金が循環する施策をとるべきで、内需の減退につながるのではないかと懸念する。

● 湯島地区北側護岸保全整備事業に関する陳情
北垣潮
湯島地域の活性化のためには、事業として高齢者の介護施設などをつくる方がいい。自然豊かなところは残すべきだ。

議決の結果を公表します!

重要議案等に対して、各議員が「賛成」「反対」のどちらであったか、下記のとおり公表します。

議案等の賛否表

議案番号	議案名	賛否	結果	表決数	平田晶子	何川雅彦	田中たつお	須崎光枝	宮下昌子	西本輝幸	高橋健	小西涼司	島田光久	川口望	田中万里	北垣潮	園田一博	窪田進市	津留和子	桑原千知	渡辺勝也	田中勝毅	猪塚安親	新宅靖司	堀江隆臣
議案第70号	上天草市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	原案に対して賛成か	原案可決	16-4	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	上天草市一般会計補正予算(第4号)	原案に対して賛成か	原案可決	20-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第17号	湯島地区北側護岸保全(道路)整備事業に関する陳情書	採択とすることに賛成か	採択	15-5	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	桑原千知議員に対する辞職勧告決議	決議を可決することに賛成か	可決	9-8	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 賛成 ● 反対 - 議長及び利害関係者は除く

12月定例会

12月定例会は、11月29日から12月17日まで開催され、条例5件、補正予算11件、陳情3件、その他15件を審議しました。
また、決算特別委員会と樋島漁協損失補償調査特別委員会から審査報告があり、それぞれの委員会からの報告のとおり認定・可決しました。

条例改正

(主なもの)

- 上天草市学校教育施設整備基金条例の制定
学校教育施設の跡地を利用するにあたり、国への補助金返還を免除されるかわりに、民間企業に有償貸与する場合、整備基金への積立が必要で、条例を制定するもの。
- 職員の給与に関する条例等の一部改正
職員の給料月額を引き下げ及び期末勤勉手当の支給月数の引き下げを実施するもの。



財産の無償貸付



天草きのこファーム株式会社が樋合小学校跡地を利用してキクラゲ栽培を行うにあたり、財産を無償で貸し付けるもの。

指定管理者の指定

施設の名称	指定管理者の名称
さんばーる	パライソ上天草株式会社
樋合海水浴場休憩施設「海の家」	あまくさ海洋レジャーパーク
龍ヶ岳山頂自然公園及び「ミュウイ」天文台	NPO法人天草元気工房
姫戸小島公園及び姫戸諏訪公園	ひとづくりくまもとネット・三勢・祐和會共同体
姫戸白嶽森林公園	株式会社 礎電設
大矢野自然休養村管理センター	休養村管理団体
大矢野総合スポーツ公園	上天草スポーツクラブドリームズ
松島総合運動公園	三勢・ひとづくりくまもとネット・祐和會共同体

陳情

湯島地区北側護岸保全(道路)整備事業に関する陳情書
湯島地区 区長代表 古賀 葵 他3名

継続審査

「子ども子育て新システム」の基本制度案要綱に基づき保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める請願
上天草市私立保育園協会 会長 天津信隆

EPA・TPP交渉に関する請願書
① TPP交渉への参加方針の撤回
② EPA基本方針作成にあたっては農業振興を損なうことがないような内容とする
あまくさ農業協同組合 代表理事組合長 川口義英

樋島漁協損失補償問題報告

樋島漁協の対応

樋島漁協が転貸先から自己競落により取得した不動産が1,500万円で売却され、損失補償の一部に充てられたと、市より報告があった。(H22.10.15 第5回特別委員会にて)

当面の裁判回避はできた

では、3,800万円の残債は…

- 樋島漁協の支払い能力はほぼゼロで、唯一といえる資産は現事務所の土地だけである。
- 市が求償権を放棄している以上(旧龍ヶ岳町が契約)、法的にはこれ以上市が樋島漁協に請求する権利はない。
- 樋島漁協は市と議会に対し、『迷惑をかけない』旨の誓約書を提出している。

上記の内容を踏まえ、樋島漁協には誓約書どおりの誠意を求めるとともに、市には損失補償額を減らすよう、最大限の努力をもって樋島漁協と交渉に臨むこととして、委員会での審査結果を下記のとおりまとめた。

特別委員会のまとめ

樋島漁協の事務所の土地と建物及びその土地に付属する資産の売却を求め、それが債務返済に充てられたことを確認した上で、残債について市の損失補償の予算措置を認めるものとする。
 なお樋島漁協には、資産は債権保全のため市の名義として仮登記を行うよう求める。また市が予算措置し、残債の支払いを行う場合、樋島漁協及び理事に納税証明書の提出を求める。

以上のような内容で市と樋島漁協に要請することを12月17日の議会本会議で報告し、賛成多数で可決しました。
 市は、今後も樋島漁協と交渉することになりますが、損失補償額が最終的に決定するのは23年度になったことにより、特別委員会は存続し、動きがあり次第開催することとなりました。

反対3

津留和子
窪田進市
何川雅彦

委員会審査報告に対する本会議での表決

賛成16

新田靖司
猪塚安親
田中勝毅
渡辺勝也
園田一博
北垣万潮
田中万里
川口光望
島田光久
小西涼司
高橋健
西本輝幸
宮下昌子
須崎光枝
田中たつお
平田晶子

6月議会で設置された樋島漁協損失補償調査特別委員会(委員長:新宅靖司)の平成22年12月段階での見解が示され、その内容が本会議において賛成多数で可決されました。その結果とこれまでの経緯をあらためてご報告します。

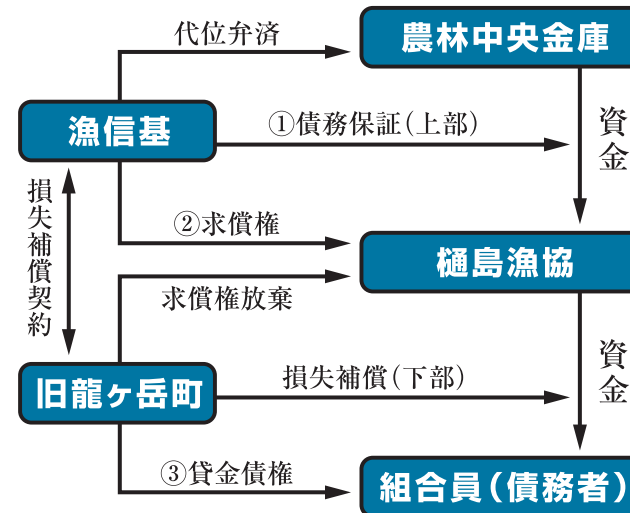
問題の経緯

樋島漁協の熊本県漁業信用基金協会(以下:漁信基)に返済すべき債務が、平成19年12月31日の償還期限を2年半以上経過しても返済できず、なお5,400万円ほどの残債があることに対し、損失補償をしている上天草市には支払い義務があるとして、督促状が送られていたが、市が支払いに応じず、漁信基は提訴の意思を表明した。(H22.9.24現在の残債は3,850万100円)

裁判回避を!

特別委員会
全会一致
で決定

■樋島漁協と関係する機関の相関図



図の説明

- ①については、すでに農林中央金庫に対して代位弁済を行っている。
- ②については、①により求償権が生じたが、平成19年12月31日で期限が切れ、漁信基と龍ヶ岳町との損失補償契約により、現在上天草市に補償金の請求を行っている。
- ③は、もしも上天草市が漁信基に損失金を支払えば貸金債権が発生し、上天草市は債務者から債権を回収することとなる。

漁信基から訴えられた場合、『上天草市』は被告として原告(漁信基)と争うのか?
 市民の大事な税金を使わなければならぬこの問題に、特別委員会でも、市の顧問弁護士に意見を聞いた。
 『問題は複雑であるが、損失補償の契約を旧龍ヶ岳町が結び、それを市が引き継ぎ、期限までに樋島漁協が支払えなかった現状からして、契約上、市の勝ち目は少ない。』との見解。

裁判にメリットなし
 弁護士見解

さらに、裁判をした場合、遅延金
 が加算され、弁護士費用も必要になっ
 てくる。市民の税金から多額の裁判
 費用まで出すことはできない。
 特別委員会では、弁護士の意見を
 鑑みて、裁判での決着はメリットが少
 なく、『裁判を回避』する交渉を漁
 信基と行うよう、市に要請した。
 また、責任を明確にするためにも、
 樋島漁協の所有不動産の早期売却を
 求めた。



上天草市議会 常任委員会

総務常任委員会

12月10日、付託された10議案の審査を行った結果、すべて原案のとおりとしました。また、議案審査を行う前に、8月14日から実証運行されている観光循環バス「パライズストロリー」に委員会で乗車し、調査を行いました。

議案第75号

上天草市一般会計補正予算(第4号)
〔所管部門〕

問 市長選挙費のポスター掲示場所設置委託料の内容は。

答 4月の選挙の委託料ですが、本年度中に準備するため予算計上していません。県議会議員選挙のあと、市長選挙と市議会議員補欠選挙となるため、掲示板は再利用し、経費削減のため、同時に設置することにしました。
(総務課)



議案第87号、94号
指定管理者の指定について

問 指定管理者の指定後管理料の変更等はないのか。



アロマを含めて、8件の指定管理者の指定について審査し、委員会ではいずれも原案どおりとしました。
(施設名と指定管理者名はP4参照)

答 サービス面で低下があれば、今後、各部署でチェックして、指導する考えです。
(総務課)



答 3～5年間の指定期間の中で、社会情勢の変化などで協議する場合があります。あるいは、基本的には市が提示した基準価格でやれる方が応募されていると考えています。
(総務課)

問 「アロマ」の管理料は上げたのか。

答 前回は19年度の実績に基づいて算定していましたが、今回は3年間の実績で見直しました。これは、あくまでも公募の際の基準価格であり、契約額とは異なります。
(社会教育課)

問 「アロマ」のロビーはいつ行っても真っ暗で、市民サービスの面は直営の時よりも低下しているのではないのか。

経済建設常任委員会

12月9日、付託された5議案と陳情1件、請願1件の審査を行い、議案はすべて原案のとおりとし、陳情等も採択しました。また、議案審査の前に、議案に係る現地の調査も行いました。(樋合小学校跡など)

議案第75号

上天草市一般会計補正予算(第4号)

問 水産振興費に計上されている鳩の金漁港用地の荷さばき所施設工事費増額の内容は。

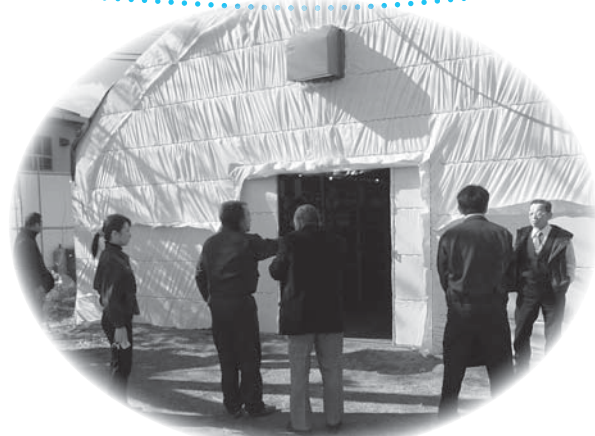
答 3月議会で承認していただいた2カ所の荷さばき所施設整備事業の一つで、予定地でボーリング調査を実施した結果、軟弱な地盤であることが判明しました。当初の予算より1379万9000円増額せざるを得なくなり、建設工事費としては、309万9000円の予算となりました。その他に、機械設備工事費や、いけすの制作費として530万円の増額もあり、当初より1920万円増の、合計4620万円の工事費になりました。
(農林水産課)



議案第86号
財産の無償貸付けについて

問 樋合小学校跡地に進出するキクラゲ栽培の企業は、繁忙期に30名の雇用を考えているということだが、繁忙期とは何月のことか。

答 3月に菌糸を入れることでキクラゲが成長してくるので、11月ごろまでが1番の収穫時期で、12月から3月までは収穫が見込めないため、企業側は別のきのこの種類の栽培を考えています。
(企業誘致課)



▲試験栽培施設を調査
『雇用の拡大を期待!』

陳情第17号
湯島地区北側護岸保全(道路)整備事業に関する陳情書(継続審査案件)

議案第75号
上天草市一般会計補正予算(第4号)

文教厚生常任委員会

12月13日、付託された11議案と請願1件の審査を行い、議案はすべて原案のとおり承認し、請願については継続審査としました。

また、議案審査の前に、排水工事予算が計上されている和光園の現地調査を行いました。

問 水道料の特別損失1500万円の内訳は。また、徴収はどのように行っているのか。

答 1企業の倒産により、回収不能分の損失です。
徴収については、過年度分の滞納者には、当月分と滞納分併せて2カ月分を納めていただいで、給水を継続しています。納入されない場合は、督促状を出し、催告をして、給水停止をしています。
(水道局)



市執行部の意見
護岸工事だけで1億程度、消波ブロック等の設置で3億円程度になり、財政的な問題が大きなネックなので、国や県の補助金や、農水省のアドバイスを受けながら検討していきたい。

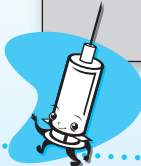
委員の意見
市の単独事業で行うと高額な整備費用がかかるので、採択するのは難しい。しかし、湯島住民の悲願であるので、色々な角度から調査研究を行い、整備に向けて前向きに進めていただきたい。



議案第84号
上天草市水道事業会計補正予算(第2号)

問 子宮頸がん予防ワクチンは、3回接種しないと効果が無いということなので、3回完了後に補助をしてはどうか。

答 接種単価1回1万6000円のところを、本人の窓口負担を5000円として、対象年齢者に多く接種していただきたい。確実に3回受けられるよう啓発を図り、接種率を高めていきたいと思えます。(保健課)



※対象者は中学1年生～高校1年生の女子で、今年度は高校1年生に積極的に勧奨。

市政のここを問う

一般質問

12月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。



長崎県松浦市：定住促進事業について



福岡県筑後市：ゴミ減量化の取り組み（ダンボールを使った生ごみ処理）

総務常任委員会
循環型社会をめざせ！
ゴミ減量化
人口減少の歯止め
に
定住促進事業

総務常任委員会は、ゴミの減量化と定住促進事業等について先進地事例を学ぶため、11月24日～26日に視察研修を実施しました。

筑後市では、平成16年から21年の6年間で16・5%のゴミ減量化に成功しており、研修では、特にダンボールを使った生ごみ処理について、実物に触れながら学びました。

松浦市の定住促進事業は、「住まいの確保」と「働く場所の確保」に力を入れ、転入促進だけではなく、転出も防ぐために「ふるさと就職奨励金」と「定住奨励金」の制度を設け、効果が出ているとのことでした。また、隣市を含めて公社を立ち上げ、いなか体験と民泊ができるプログラムで、修学旅行生を受け入れ、2億5000万円の経済効果があつているとのことでした。

両市の取り組みは、本市が抱える問題の解決に、大いに参考になりました。

上天草市の施策に生かせ!! 常任委員会 先進地視察研修 報告



志布志市
伊崎田保育園
：ヨコミネ式教育



鹿児島県出水市：子ども医療費助成について

文教厚生常任委員会
子育てしやすいまちに
医療費等の助成
ヨコミネ式教育に学ぶ！
子どもの教育

文教厚生常任委員会は、子育て環境と福祉の充実について学ぶため、11月18日～20日に視察研修を実施しました。

出水市では、平成22年の10月から、小学校3年生から中学3年生までに医療費の助成を拡大したことについて、導入までの経緯や予算などについて学び、その他、訪問員が高齢者世帯を訪問し、福祉ニーズの掘り起こしや、紙おむつの配布を行っている活動状況などについて研修しました。

志布志市の保育園では、テレビで取り上げられて話題になった「ヨコミネ式教育法」について学ぶため、保育の様子を見学させてもらいました。テレビで「スーパードキ」と呼ばれた子どもたちは、幼児で漢字を書き、逆立ちや高い跳び箱を飛んで、行動がいきいきとしていました。横峯理事長に「すべての子どもは天才である」と「すべての子どもの才能を伸ばすこと」を重点をおいているとのことでした。

この他にも、福祉施設や子育て支援施設を訪問しました。研修で学んだことを生かして、本市の福祉の充実につなげていきたいと思えます。

一般質問

Q 上天草市の財政は改善されたのか
A 自治体の基礎は確立された



高橋 健 議員

高橋 リバイバルプラン（市財政健全化計画）の実施により、財政数値はだいぶ改善されたが、目標値を達成したあかつきには、市職員の処遇等にも戻してほしい。（表1参照）

また、平成16年度と比較して、世帯数は15しか減少していないが、人口は3500人も減少している。要因として、核家族化と若者の市外への流出が考えられるが、どのように分析しているか。

市長 市民の皆様のご協力と行政コストの圧縮により、自治体の基礎はここ2・3年で確立されたと考えます。これからは日本全国が人口減少社会を迎える中、人口を増やすという作業は困難であります。『財政再建』から『経済の立て直し』へ基軸をシフトし、人口減少へ少しも歯止めをかけたいと思えます。

町以外の3町のどこかに、大規模な加工場を造ってほしい。

（旧町の均衡ある発展の一端として提案）

市長 ヒット商品ができ、他にも加工場が必要という場合は、おそらく民間主体となると思いますが、旧4町あわせて立地条件の良いところを選定していくべきだと思います。

表1 上天草市の財政指標の状況と目標数値

	平成16年度	平成22年度見込	目標数値
財政力指数	0.24	0.265	0.46
経常収支比率	97.7%	89%	80～85%
財政調整基金	8億1,937万円	14億7,744万円	17億円
減債基金	2,128万円	6億2,078万円	8億円
実質公債費比率	18.4% (H17)	15.6%	15.0%

高橋 現在、建設中の農林水産物加工品開発センターの事業で、全国的なヒット商品が出来た場合、大矢野

【6次産業について】

6次産業とは...
1次産業×2次産業×3次産業のことで、それぞれの産業が一体となって総合産業（6次産業）として発展することを指すもので、産業間連携の在り方を示すものです。

Q

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)についての考えは

A

迅速な自由化導入には断固反対である



窪田 進市 議員

窪田 「TPPに参加して自由貿易を進めなければ、これからの日本は取り残され発展はない」という賛成論と、『完全自由化は日本の農業が壊滅的な打撃を受ける』という反対論に分かれている。市長の所見を聞きたい。

市長 完全自由化になると、計り知れない影響が想定されます。迅速なやり方ではなく、十分検証し、我が国の食と安全を守るという観点から取り組んでいただきたいと思えます。

窪田 自由化における本市への影響について、どう予測されるか。

経済振興部長 市の農産生産額9億700万円に対し、8億2000万円相当の被害額となり、特に米、乳製品は100%、肉類も83%の被害を受けることになると試算しています。

窪田 農業への企業参入について、栽培されている天草緑竹、万次郎カボチャの状況はどうなっているか。

経済振興部長 国交省の『建設業と地域の元気回復助成事業』を活用し、建設業者が農業参入されています。



(上)天草緑竹



(下)万次郎かぼちゃ

住宅団地事業の取り組み

窪田 住宅建設事業における市の取り組みについて、地域に合った支援などを進めてはどうか。

建設部長 県内の市町村でも、定住促進対策として、団地造成や住居の支援等、地域の特性に合った取り組みの実例があります。今後本市においても、住環境の充実に向け、市営及び民間住宅事業の支援など、地域の実情に沿って取り組んでいきます。

Q

松島庁舎建設は緊急課題だ

A

平成24年度前後に建設予定



窪塚 安親 議員

窪塚 松島庁舎の新庁舎建設は、法定協議会の決定事項である。11月開催した議会報告会の中でも、龍ヶ岳、姫戸、松島会場では、建設に対する多くの強い要望や意見があった。

松島庁舎等建設検討委員会の答申が示されたが、内容を知りたい。

総務企画部長 11月29日に答申がありました。内容としては、大きく4つに分れています。

(一)松島庁舎、保健センターとも老朽化により市民の安全性が図れない。早期の建設を望む。(二)建設費用、本体工事5億円程度、起債3億円程度の枠内。(三)規模は現松島庁舎保健センターの組織をどうしよう出来る規模とする。(四)工法は構造的な能やコスト面に配慮し木造も含め検討されたい。場所は地質調査等の結果を踏まえ、他に適地があれば柔軟に対応されたい。

窪塚 現保健センターの土地のボーリング調査結果は。

総務企画部長 中間発表ですが、地質はアロマ周辺より3mほど浅いという結果です。面積的に十分なのか、



答申では、『場所は地質調査等の結果を踏まえ、他に適地があれば柔軟に対応されたい』であった。(写真は候補地の一つ「保健センター」)

防災面の問題等、今後の検討課題もあります。

窪塚 財政調整基金はどんなことを想定した基金か。

総務企画部長 災害時のような急ぎの場合に備えての基金です。

窪塚 松島庁舎建設こそ緊急課題だ。A・B・C案あるがどの案の予定か。

総務企画部長 現段ではA案での答申を受けました。現行の組織規模を維持した施設ということですが。建設時期は24年前後に、工法は木造も含め今後の課題となります。

窪塚 新松島庁舎の建設により、市民の一体感が強化されると思う。市民の期待に沿うよう、一日も早い建設を切に願います。

Q

水道料金の滞納や不納欠損処分額が大きいのが

A

徴収率のアップに努めたい



西本 輝幸 議員

西本 平成21年度すべての会計決算で滞納総額約10億4000万円、不納欠損額が約5900万円もあり、徴収の公平さに欠けている。

水道料金については、徴収の消滅時効が地方自治法から民法に変更され、債権の消滅時効も5年から2年間に短縮されているが、不納欠損処分の対応について伺う。

水道局長 民法に移行し消滅時効が5年から2年になり、援用が必要となりました。民法に移行後は債権の消滅はございません。

西本 時効の援用、権利の放棄による解釈は。

水道局長 水道事業におきまして不納欠損処分は会計処理上のことで、法律上の『債権を放棄するもの』ではありません。

西本 不納欠損処分をしても、水道料金の未済分は請求できるのか。

水道局長 できると解釈して、その様に実行しております。

西本 完納者と不公平があると思うが。



「徴収率のUPを！」

用語解説

不納欠損…税金などを何らかの理由で納めていただくことができず、今後もその見込みがないため『納めていただくことができない』と決定すること。例えば納税者が死亡し相続人がいない場合や、時効が成立したときに行われます。

方からしてみれば、滞納者に対する不納欠損処分は当然不公平に感じられるものと思います。

西本 不納欠損処分に関する取り扱いについては、他県では要綱作成ができていますが、上天草市では作成する考えはないか。

水道局長 沖縄県北谷町では、水道独自で定めています。今後ぜひ検討させてもらいたいと思います。

西本 水道料金の未収金が約1億1600万円あるが、水道局の対応は。

水道局長 今後徴収の頻度を上げるなどして、徴収率を上げていきたいと思えます。

Q

新幹線全線開業に向けて交通アクセスの向上を

A

誘客促進に向け取り組んでほしい



新宅 靖司 議員

新宅 九州新幹線全線開業が間近となったが、市として行っていることは。

総務企画部長 地域振興協議会を設立し、交通アクセスの向上、受け入れ態勢の整備、スポーツ大会の誘致など、誘客促進に向けた取り組みを行っているところです。

新宅 本市にとって八代港も新幹線客の一つの玄関口であるが、運行するフェリーの可動橋使用料に対する補助や免除はできないか。また、八代港から新八代駅までシャトルバスの運行はできないか。

総務企画部長 可動橋は県が管理主体なので、使用料の免除等は困難ですが、要望は続けていきたいと思えます。新八代駅から八代港の交通アクセスの利便性向上については、八代市と連携しながら、まずは実態調査を行った上で、シャトルバスの運行など、関係公共交通機関に対し要望することを検討しています。

市内バス路線について

新宅 市内路線バスの乗車率は。

総務企画部長 バス会社への補助金は年間約7841万円で、乗車率は約17%です。

新宅 平成21年から運転免許証の自返納者で65歳以上の方を対象に、運賃半額のサービスがあるが、周知が足りないと思う。(事前に免許返納者割引乗車証の発行手続きが必要)多額の運行補助金を出しているのであれば、75歳以上の方を半額にするなど、福祉の観点からも策を考えていただきたい。

また、路線としては松島バス停、阿村、姫戸庁舎、上天草総合病院のルートの一つの柱として、再編を行ってほしい。

納税意識について

新宅 私たち議員は公人で、市民の大事な税金から報酬を頂いている。滞納していた議員は税を所管する総務常任委員会の委員長です。私は、少なくとも委員長不資格者だと思は、議会の皆さんのご判断のもと的確に判断していただきたい。

Q 松島庁舎建設の 答申について

A 答申の方向性は十分に 尊重する



田中たつお 議員

田中 松島庁舎建設の促進について
市長 今の松島庁舎の機能をそのまま

維持した形で、比較的安価と思われ
る木造も検討し、活用可能な補助
制度や合併特例債を財源として、わ
ずかな負担という形で新しく建て替
えがなされると、市民の皆様にもそ
うご理解いただきたいと思ひます。

田中 基本構想並びに設計案をいつ
議会、市民に提示されるのか。

総務企画部長 基本構想については
年度内の完了を目指しています。そ
の後、基本設計・実施設計・着工と
いう運びになり、平成24年度前後の
庁舎完成を目指します。

【交通アクセスと新幹線の 全線開業について】

田中 交通アクセス、特に大矢野地
区の交通渋滞について考え伺う。

市長 生活道路として、また観光と
いう観点、経済全般にわたる観点か
ら考えまして、非常にロスが出てい
ると思ひます。

田中 パライズストローリーバスの
実証運行について、姫戸・龍ヶ岳方
面への考えはなかったのか。



「渋滞の解消を！」

総務企画部長 本市の立地条件、公
共交通の状況等を踏まえたときに、
第一段階の運行は大矢野町が妥当で
あろうということに現在に至ってい
ます。

田中 新幹線全線開業にあたり、市
の取り組みが見えてこない。行動に
移して、目に見える形を。

総務企画部長 手をこまねている
わけではありません。旧4町の均衡
ある発展を基本に、花の植栽などの
環境整備や、八代―天草フェリー航
路の活性化など、観光客誘致に全力
を挙げて取り組みたいと思ひます。

Q 現在の2庁舎方式 についての考えは

A 防災面からも 2庁舎方式が現実的である



小西 涼司 議員

小西 合併協定の最大の課題でもあ
る松島庁舎建設は、検討委員会の答
申を最大限に尊重されて、市長の一
期目の任期内に確固とした筋道を立
て、最終的なめどをつけていただき
たい。

また、2庁舎方式について、将来
的にどのように考えているか。

市長 一番大事な部分が災害等の対
策であり、地政学的に考えても極端
な社会変動がない限り、現在の2庁
舎方式という運営の仕方が現実的
と思っています。

小西 一期目でなし得なかった課題
の解決と、上天草市の均衡ある発展
に向けて、今後積極的な取り組みが
必要だと思ひますが、市長の考えは。

市長 二期目の最大の課題は経済の
立て直しであり、できる限りの力を
もって邁進していきたい。

均衡ある発展については、非常に
重要な部分であり、各地域の特色に
あった都市計画づくりを、もう一歩
踏み出した形で推進すべきだと思っ
ています。



「景観を生かし、観光客の誘致を！」

千蔵山からの風景

【観光振興対策について】

小西 21年度から「観光再生元年」
を掲げ、観光振興を図っているが、
どのような案を推進してきたのか。

経済振興部長 東京、大阪の地下鉄
駅への宣伝看板（ピクチャーボー
ド）設置事業、情報発信強化の委託
事業、雲仙天草観光圏事業、天草海
道博覧会等に取り組んでいます。

小西 九州新幹線の全線開業に伴う
経済波及効果をどう考えているか。

経済振興部長 熊本県への観光客は
5%程度増加し、約220億円の経
済波及効果があるとされており、本
市でもその効果を期待しています。

Q 債務返済金の現金運搬は 不適切ではないか

A 適切な行為である



島田 光久 議員

島田 樋島漁協職員から買物袋に
入った現金1500万円を建設部長
が預かり、総務企画部長、市長立会
いで確認され、返済先の熊本県漁業
信用基金に運んで、返済の一部にあ
てられた。領収書の宛名は『上天草
市』になっているが、これは公金な
のか。

総務企画部長 市の会計の区分とし
て、歳計現金といわれる公金でもな
く、歳計外現金といわれる預かり金
でもありません。『上天草市』の領
収書であっても公金ではありません。

島田 公金ではないと言われるが、
市が債務のうち1500万円を支
払った形になり、損失補償が確定し
たと解釈されるのではないか。樋島
漁協の組合長から返済金の一部とし
て頼まれたのであれば、銀行から振
り込めば済むが、なぜ現金で運ぶ必
要があったのか。

総務企画部長 道義的な部分があり
ます。立場としては、市は債務者で
あり、一つの手土産として現金15
00万円を持って行くことで、二年
半返済が滞って大変迷惑をかけまし

たと、人として責任を全うするため
であります。

島田 漁協の返済金を、公務として
現金で持ち歩くこと自体が疑惑を持
たれる。なぜ市長は振り込むように
指示しなかったのか。

市長 今回の現金は会計上公金では
ありませんが、市として道義上現金
を届けることは必要であると認識し
ています。債務の支払義務は市に
移っていますので、直接現金を手渡
すことは職務上ありえます。おかし
いというのであれば法的根拠を示し
てほしい。

島田 公金でない現金1500万円
を樋島漁協組合長から頼まれ、返済
金の一部として職員3人が公用車で
熊本県漁業信用基金に運んだ。この
行為は公務員法第35条の職員の規律
に反すると思われる。



KAMIAMAKUSASHI GIKAI DAYORI

Q 国道266号線龍ヶ岳白浜から 東風留区間の整備計画は？

A 1月中旬に地元説明会を 開催予定



北垣 潮 議員

北垣 天草の国道の中で1番国道ら
しくない国道は、白浜から東風留の
区域だと思ひます。この整備計画はど
うなっているか。

建設部長 県と打ち合わせをしまし
たところ、山側に線形をとったルー
トがほぼ完成しているということだ
です。1月中旬に地元説明会を開催
されて、それで
納得していただ
ければ、平成23
年度中に用地交
渉に入りたいと
いう県の回答で
ありました。

北垣 市の重点
プロジェクトの
中にも『266号線を早急に整備し、
上天草総合病院への公共交通機関の
充実を図ります。』とある。早急に
整備してほしい。



白浜～東風留の区間

**市職員の人間ドック
利用状況について**

北垣 市職員の上天草総合病院での
人間ドック利用者数は。

【市の財政について】

北垣 市の財政は熊本県14市の中で
最低です。「合併特例債が活用でき
る間に箱物建設を」との声があがっ
ているが、合併の特例期間終了後、
地方交付税は大幅にカットされる。
(13億5000万円) そのことも考
えて財政再建の道を進んでほしい。

総務企画部長 平成23年度の申込み
が2月頃にありますので、できるだ
け上天草総合病院を使うよう呼びか
けたいと思ひます。

Q

4年間を振り返って市長自らの評価は何点ぐらいか

A

70点ぐらいかと思っています



田中 万里 議員

田中 4年間を振り返り、市政運営を100点満点で採点すると、市長自らの評価は何点ぐらいか。また、やり残したことは。

市長 70点ぐらいかと思っています。やり残したことは、1番には「豊かさづくり」・「経済の立て直し」であり、合併から引き継いでいます。損失補償問題や庁舎問題、水道料金の統一問題など、諸問題がまだ残っているかと思っています。

田中 「財政が好転した」と発言をされているが、合併時より人口が約6000人減少した。この人口が減った要因は何だと思ふか。

市長 所得の問題、雇用の問題が第一だと思います。

田中 財政力指数をはじめ、公債費比率等が数字的にはよくなったという点は評価している。しかし、市長をはじめ総務企画部長は「好転した、好転した」という言葉を使われるが、市民は「何が好転したのだろうか」と感じている。

好転したという言葉を使うのであれば、市税の増収などが見られると



「雇用の確保を！」
(写真：大矢野庁舎1階求人案内コーナー)

Q

人口減少に歯止めをかける地域振興策は

A

定住支援の取り組みは遅れていると認識している



宮下 昌子 議員

宮下 合併後、人口減少が急激に進んでいる。(表参照)対策の一つとして、市の『定住促進事業』の取り組みは。

総務企画部長 現在、『ショートステイの受け入れ』『不動産物件の情報提供』など行っています。

宮下 『ふるさと就職奨励金』『住宅補助』『定住奨励金』などさまざまな支援策を講じて、「何としても人口減少に歯止めをかけた」という意気込みを見せて欲しい。

また、上天草市の環境を活かしたグリーンツーリズムの取り組みも、市キャンペーンの新たな指定管理者とともに積極的に取り組んで欲しい。

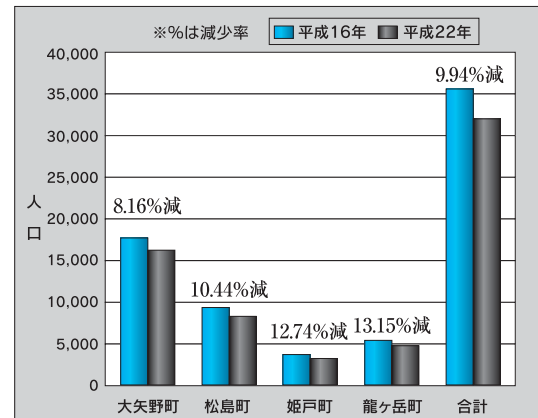
市長 経済を立て直す上で、一つの政策だと認識しています。

【新年度予算について】
宮下 予算編成で重視したことは何か。

総務企画部長 教育環境整備、観光振興、経済・産業・就業支援です。

宮下 市長は「財政再建の結果、基礎体力はついてきた」と言われたが、公

表 【上天草市人口減少グラフ】



債費比率、経常収支比率ともに、まだまだ弾力性のない状態が続いている。「好転した、基礎体力がついた」とは言えないのではないか。

総務企画部長 ばん石とはいえないが、市民の協力と職員の頑張り改善の方向です。評価いただきたい。

宮下 市民所得引き上げのために、せめて財政調整基金の半分を社会弱者の生活向上に役立てる財源として活用すべきだ。

Q

市の自殺予防対策は

A

自殺対策強化事業(21~23年度)として取り組んでいく



川口 望 議員

川口 21年度に行った自殺に関する意識調査をもとに、市ほどの様な対策をとっているのか。

健康福祉部長 合併後、現在までに市内で66名の方が亡くなられており、市としても社会福祉協議会と連携を取り、窓口の設置を行い、相談の対応を行っています。また、12月中旬に自殺対策庁内連絡会を設置し、総合的な検討を進めたいと思っています。

川口 市としても強化月間などを定め、未然に防げる様な啓発活動を行ってほしい。また、残された家族の心のケアをできる様な窓口も必要と思うので、市として早急に取り組んでいただきたい。



イノシシ捕獲の箱罠を設置!!



【イノシシ対策について】

川口 11月に開催した議会報告会の場で、イノシシ対策について多くの市民より多大な被害の声を聞いたが、市としての今後の対策は。

経済振興部長 今年度の倍の頭数を捕獲するために、来年度は予算も倍額確保していきたい。また、狩猟免許の習得を希望される方がいらっしやれば、市内で講習の場を設けるなどして、イノシシの狩猟者を増やしていきたいと考えています。

川口 現状の補助以外にも、市民の要望は多様にある。市としてできるだけ臨機応変に対応し、被害を少なくしてほしい。

KAMIAMAKUSASHIGIKAIDAYORI

平成22年の一般質問で

多かったのはこの質問

平成22年3月・6月・9月・12月の議会定例会の一般質問で、多く質問がなされた項目のランキングです。議員それぞれに提案事項や要望は違いますが、昨年の本市の問題・課題のランキングともいえます。

順位	質問項目	順位	質問項目
1位	観光、地場産業の活性化	5位	イノシシ対策
2位	松島庁舎建設	5位	学校統廃合
3位	上天草高校	5位	市の財政
3位	市税関係	9位	高齢者問題、まちづくり、入札、国民健康保険、市長選挙
5位	樋島漁協損失補償問題		

(質問通告項目による集計)



公共交通活性化

市の公共交通対策予算として、バス運行補助金などを支出しています。今年度は総務省の補助金を活用し、観光循環バス「パライズストローリー」が、観光客を呼び込むための2次アクセスの強化などを目的として運行しています。

- 「観光循環バスの乗客が少ない」
- 「大矢野から上天草総合病院へのアクセスが悪い」
- 「循環バス以外にも大矢野-龍ヶ岳をつなぐバスを！」



小中学校統合計画

学校規模適正化基本計画では、平成28年度までに小学校6校、中学校は4校に統合する計画です。統合は、議会の議決が必要（条例改正）で、審議では、統合計画を推進することを基本として、子どもの教育環境、保護者・地域の理解などをポイントに判断します。



「今、少人数できめ細やかな教育が受けられている。」

「複式学級にならなければ統合せずに済むのか。」

「教育環境として複式学級では子どもがかわいそう。ある程度市が主導して統合を進めてほしい。」



松島庁舎建設

松島の新庁舎建設は、合併時の約束ごとですが、市は財政再建を最優先に進めてきました。しかし、合併特例債の利用期限が平成25年までであることから、今年度から庁舎建設に向けて具体的な動きをはじめています。

- 「合併時の約束に沿って進めるべき」
- 「議会は新庁舎の必要性について十分議論し、判断してほしい」



議会報告会

を開催しました

平成22年11月10日〜17日まで、市内8カ所で議会報告会を開催し、合計171名の市民の皆さんにご参加いただきました。

この議会報告会は、議会改革の一環として、市議会議員全員が、議会審議の内容や市政の現状などを直接市民の皆さんに説明するものです。

昨年は、議会基本条例検討特別委員を務める議員を中心に、4班に分かれて地域に出向きました。平成22年3月の議会から9月議会で決定したもののほか、松島庁舎建設問題やイノシシ対策など、常任委員会ごとに市民の皆さんに関心があるものを優先して説明し、参加の皆さんからご意見をいただきました。

会場によっては、参加者が10人ほどと少ないところもありましたが、それでも市の課題や問題点、地域発展のアイデアなど、積極的にご意見をいただきました。

今回、会場での説明事項と寄せられたご意見について、その一部をご紹介します。

イノシシ対策

- 「イノシシの被害は深刻。早急に対策強化を！」
- 「イノシシを処理する加工場が必要」
- 「補助の基準の見直しを！」
- 「イノシシ注意の看板設置を！」



総括

この他にも、観光振興や農林水産物加工品開発センターの建設などについて報告し、貴重なご意見をいただきました。

議会報告会を開催し、市民への情報提供と説明責任、また市民の更なる参画の必要性を感じました。いただきましたご意見を生かし、議会の活性化につなげていきます。



農村婦人の家



榎島老人福祉センター



教良木河内出張所



大道老人福祉センター



アロマ



大矢野庁舎書庫棟



維和出張所



姫戸老人福祉センター